

心の原風景
—我が母校—

佐渡市立小木小学校

『91.3%』

この数字は、「佐渡学（総合的な学習の時間）」で課題を解決したことに喜びを感じている子ども割合です。

小木小学校では、佐渡市学校教育基本構想の柱の一つである「郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育の充実」を目指しています。その佐渡固有の自然、歴史、文化を学ぶ教育の一つが、「佐渡学」です。

【各学年の「佐渡学」の内容の一部】
○地域の様々な職業の方と出会い、努力や工夫を学ぶ。（3年生）
○施設見学やピクトープづくりな



たらい舟に挑戦



竹細工に挑戦



小木港祭りへの参加
(民謡クラブ)

どにより、トキの野生放鳥化に向けた取組を学ぶ。（4年生）
○施設見学や作業体験を通して、竹細工など、佐渡の伝統工芸のよさを学ぶ。（5年生）

○北前船による佐渡の文化や工芸への影響について学ぶ。（6年生）

「佐渡学」以外にも、佐渡固有の自然、歴史、文化を学ぶ教育を充実させるため、地域と連携を図った活動を行っています。

【地域の方々による指導】

○ふれあいタイム（昔の遊びやニュースポーツを教えてもらう時間）
お手玉、あやとり、百人一首、ゲラウンドゴルフ、ニューズポーツ、コースター作り

○クラブ活動

茶道、囲碁・将棋、焼き物

○課外活動

民謡（小木おけさの演奏など）
今後も地域と連携し、教育活動の充実を目指していきます。

◆教育委員会学校教育課（両津支所内）

☎ 23-4898

新連載

ジオパーク、推進日記 ①

佐渡が『ジオパーク』にふさわしい理由

皆さんは、わたしたちの島がどのようなにできてきているか、知っていますか？

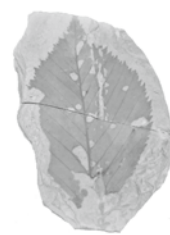
島の土台は、火山から吹き出した溶岩が固まった岩石などからできています。この土台の上に砂や泥がたまった地層が乗り、その上で私たちが生活をしているのです。佐渡のシンボル・金北山は、地殻変動で地震を引き起こしながら高くなっていききました。このように太古の海でつくられた岩や川が運んだ砂や泥が長い年月をかけて佐渡を造ってきたことがわかります。

今、佐渡のように豊かな大地をもった地域が、日本・世界ジオパークの認定を目指して推進運動を展開しています。佐渡には、大陸のテーマパークとして十分認定を受ける資質をもっています。

佐渡って、もしかしてスゴイの…？

このような「大地の宝物」を佐渡が持っているということ、皆さんはごく当たり前のように感じているかもしれませんが、これは当たり前ではないのです。岩石があつて、砂や泥の地層があつて、それらが人を感じさせるような美しい景観を生み出しているということ、そして、その

中から出た多種多様な化石たちをひとつの島の中で見ることができるとは『奇跡』に近いことなのです。



佐渡に住む、皆さんへ

普段皆さんが何気なく見ている崖や、庭に置いてある石が、実はとても貴重なものかもしれません。外出の際には、空や動植物から少しだけ視線を「大地」に向けてみませんか。きっと新しい発見があるはずですよ。



◆教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室（両津郷土博物館内）
☎ 23-2100